

とす。斯の如く見易き土地形勢なるが故に旅行者は豫め此の先は斯く々々此處を過ぐれば、斯く々々と豫想するも、概ね外るゝこと無きが如し。

戦術上の
觀察

我儕軍人を以て之を言へば、此の如き變化乏しき新疆内に在りては、陣地を得ること甚た難し。偶、高地あるも、草なく木なき沙丘にして、何れを據點、何れを鎖鑰とせん術なく固より左右は何物も託する能はず。若し側面に沼澤あれば、开は屈強の依託物なり。故を以て戰鬪は、市街村落又は森林の一端に於て開始せられざるべからず。

然らざれば、海なす大沙漠中に在つて大兵を展開し、正々堂々一舉に勝負を決せんのみ。要するに新疆内なる戰術は、單純なりと謂ふべし。

第二章 風 土

第一節 氣 候

若し緯度を以て之を云へば、新疆は實に我本洲中部以北、樺太南部邊と其位置を

緯度の比
較